

2025年度 東京家政大学狭山校舎 公開講座

前期講座の
ご案内



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
地域連携推進センター

2025年度 前期講座のご案内

公開講座

■【歴史・文学】【語学】【文化・芸術】【心理・福祉】【健康・体力づくり】
ジャンルより8講座

Tokyo Kasei塾 2025 保育者編《専門講座》

■【子ども支援と保育支援】 Part 1（前期）『保育における基軸』

Tokyo Kasei塾 2025 食品編《オンライン専門講座》

■食品の生菌数測定の誤解

✧所長挨拶✧

生活を豊かにし、生きる活力を高めることができる
「生涯学習社会」を目指して

東京家政大学地域連携推進センターは、地域とともに「生涯学習社会」を目指し、「地域課題解決に向けた連携・協力関係の構築」を目的に、本学の教育・研究の成果を地域社会で活用していただけるよう、様々な事業を展開しております。ここにご紹介する各種講座・研修会などはセンターの事業体系の中では、「学習機会提供事業」に位置づけられ、本学の教授陣を中心に講師を担当しております。きっとこの中に皆様のお役に立てる学習機会があると思います。どうぞご活用ください。

今後も本学の教育・研究の成果を活かした地域や社会の課題解決への諸事業・取組みを推進してまいります。皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
地域連携推進センター
所長
久篠 奈苗

■公開講座

■ 歴史・文学

01 『論語』の名言を今読み直す ～令和を楽しんで生きるヒントを学ぶ～ 4

■ 語学

02 楽しい英語の歌講座 ～発音・リズム・イントネーションを通して英語を学びましょう～ 5

■ 文化・芸術

03 詩を読もう ～声の変化で心も身体も健康に～ 6

04 絵本の発達心理学 ～言葉で遊ぶ～ 7

05 俳句の実作と鑑賞 一日々の感動をことばに 8

■ 心理・福祉

06 生き生き感性アート ー臨床美術入門講座（2025前期）ー 9

■ 健康・体力づくり

07 女性の健康とペリネケア ～健やかな生活を送るための骨盤底筋セルフケア～ 10

08 きほんの献立練習 ～シンプルな献立法～ 11

■Tokyo Kasei塾 2025 保育者編《専門講座》

「子ども支援と保育支援」 Part 1（前期）『保育における基軸』

09 子ども主体の保育を考える ～記録と計画の見直し～ 12

10 乳幼児期の探究をはぐくむ環境・保育材 12

11 表現が語る子どもの世界 ～個の表現を保障する造形活動を考える～ 13

12 乳児の健やかな育ちを支える保育 ～健康な心と体の育て方～ 13

■Tokyo Kasei塾 2025 食品編《オンライン専門講座》

13 食品の生菌数測定の誤解 14

■受講のご案内 15～23

01 『論語』の名言を今読み直す ～令和を楽しんで生きるヒントを学ぶ～

申込締切

8/21
木

講師 打越 竜也 (東京家政大学地域連携推進センター講師、放送大学非常勤講師)

講座日時 金曜日 (全3回) 13:30～15:00 [90分]

定員 30名

受講料 ≪一般≫6,000円 ≪在学生≫3,000円

持ち物 筆記用具



講師プロフィール

大東文化大学大学院博士課程後期満期退学後、同大学の生涯学習講座講師として『論語』講座を担当。その他、埼玉県内の公民館、公開講座などでも『論語』講座を担当。また放送大学非常勤講師。論語講師として今年で24年目となる。一方で、大学受験予備校の河合塾で漢文講師としても活動中。

開催日

①9月5日(金) 論語とはなにか

『論語』とはどんな内容なのか。有名な言葉を使って学びます。

②9月12日(金) 論語から考える

名言を読み直してどんな心境で語ったのか。できるかぎり真実に迫ってみたいと思います。

③9月19日(金) 論語を楽しむ

あらゆる角度から一つの文章を読み、名言をより味わい楽しみたいと思います。

講座内容

本講座は中国の代表的な古典であり、今でも読み継がれている『論語』を毎回テーマを設けながら読み味わいます。初学者の方でも丁寧に解説しますので、安心して受講いただけます。渋沢栄一も愛読した『論語』を、私たちも存分に楽しみましょう。



02 楽しい英語の歌講座 ～発音・リズム・イントネーションを通して英語を学びましょう～

申込締切

5/29
木

講師 酒井 藤恵 (児童学部准教授)

講座日時 木曜日 (全2回) 10:30～12:00 [90分]

定員 30名

受講料 ≪一般≫4,000円 ≪在学生≫2,000円

持ち物 筆記用具・室内履き



講師プロフィール

東京都立中学校、私立中学高等学校、私立短期大学等の勤務を経た後に、本学に着任。中・高現場の英語教授経験を生かし、英語の4技能習得や、英語科教育法などの科目を担当する。歌やコミュニケーションを授業に多く取り入れ、楽しく効果的な授業を目指す。現在は、主として、小学校の英語教育に関する開発や研究を実施している。文部科学省中学校英語検定教科書「One World」著者、英語検定面接委員。

開催日

①6月12日(木)

英語の歌を通して、発音・リズム・イントネーションを学びましょう。例：ダニーボーイ (1913)、エーデルワイス (1959)、ムーン・リバー (1961) など。次に2回目に歌いたい曲を伺います。例：マイ・ウェイ (1969)、勝利を我らに・We Shall Overcome (1901・1947)、私のお気に入り My Favorite Things (1959)、イエスタディ (1965)、トップ・オヴ・ザ・ワールド (1972)、心の愛 I Just Called to Say I Love you (1984)、ホール・ニュー・ワールド (1992) ※他リクエスト可

②6月26日(木)

1回目の復習をします。また、皆さんのお好きな曲を練習し、楽しく歌いましょう。

講座内容

自信を持って英語の歌を歌ってみませんか。本講座では、往年の英米ヒット曲や映画の名曲を取り上げ、歌詞を解説し、発音・リズム・イントネーションの練習をした後に、歌唱練習を行います。ちょっとしたコツで、より英語らしく聞こえる発音のコツをお知らせします。希望者のみ、ソロやグループで皆さんの前で歌う機会を設けます。毎回、好評のピアノの生伴奏(清家知代先生)が付きます。第1回目に歌いたい曲のアンケートをします。過去に受講された方には、以前に歌った曲との重複など、ご相談の上、新たな曲に挑戦してもらえようようにします。



03 詩を読もう

～声の変化で心も身体も健康に～

講師 金田 誠一郎 (俳優・演出家・振付師)

申込締切

6/20
金

講座日時 金曜日 (全2回) 13:30～15:00 【90分】

定員 30名

受講料 ≪一般≫4,000円 ≪在学生≫2,000円

持ち物 動きやすい服装・筆記用具



開催日

①7月4日(金) 声を出してみよう

軽いストレッチで身体をほぐし、発声練習の後、大きな声で詩を朗読します。軽くなった身体と明るい声で朗読する楽しさを知ってもらいたいです。

②7月11日(金) みんなで詩を読んでみよう

軽いストレッチの後、テキストの詩を一人ではなくみんなで読んでみます。一人で読むのと全く違う詩の世界を体験してもらいたいです。

講師プロフィール

オンシアター自由劇場付属養成所卒業後アメリカ・ニューヨークへダンスの勉強の為、渡米。1992年には自身の劇団「UTAN☆EYES」を立ち上げ、作・演出・振り付けを手がける。

1999年ショー GEKI大魔王旗揚げに参加、2012年までのほとんどの公演に参加。その後、映像作品へ活動の場を広げる。

出演作品「シン・ゴジラ」「闇金ウシジマくん part3」「今夜、ロマンス劇場で」など。

講座内容

普段あまり馴染みのない詩。でも声に出して読むとびっくりするくらい気持ちがいいのです。普段出せない大きな声で美しい言葉を声に出すと、心も身体もぎっくと喜んでくれると思います。是非、体感してみてください。



04 絵本の発達心理学

～言葉で遊ぶ～

講師 野口 隆子 (子ども支援学部教授)

申込締切

7/2
水

講座日時 水曜日 (全1回) 10:30～12:00 【90分】

定員 30名

受講料 ≪一般≫2,000円 ≪在学生≫1,000円

持ち物 筆記用具、絵本1冊



開催日

①7月16日(水)

お持ちいただいた絵本で、グループワークのコミュニケーションを行います。

講師プロフィール

お茶の水女子大学大学院を経て白梅学園大学子ども学研究科博士課程修了。博士(子ども学)。専門は、保育学、発達心理学。

主な社会活動として公益財団法人日本教材文化研究財団研究協力者、狭山市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員、国際幼児教育学会理事、OMEP日本委員会理事など。

著書には「乳幼児の保育・教育」(単著、放送大学教育振興会)、「絵本の魅力 その編集・実践・研究」(共著、フレーベル館) などがある。

講座内容

絵本の魅力は子どもから大人まで幅広く伝わるものです。子どもたちはどのように絵と文字が紡ぎだされる物語を楽しんでいるのでしょうか。絵本を題材に、物語を作ってみたり言葉遊びをしながら、発達を学びましょう。



05 俳句の実作と鑑賞 — 日々の感動をことばに —

申込締切

5/31
土

講師 吉野 裕之 (東京家政大学共通教育推進部非常勤講師・俳人)

講座日時 土曜日 (全2回) 13:30~15:00 [90分]

定員 20名

受講料 ≪一般≫4,000円 ≪在学生≫2,000円

持ち物 筆記用具、ノート



開催日

①6月14日(土) 俳句の基礎と近世・近代 の名句鑑賞

俳句の約束事や作り方のポイントの説明、近世・近代の名句の解説。

②6月28日(土) 俳句の実作と現代の名句 鑑賞

受講生の俳句を講師が講評。加えて、現代の名句の解説。

※宿題として、各自俳句2句を作り、当日持参、提出していただきます。

講師プロフィール

1961年横浜生まれ。大学院在学中に作句をはじめ、今村俊三(桃滴舎主宰)、岸田稚魚(琅玕主宰)、岡井省二(槐主宰)に学ぶ。俳句のほか、短歌、まちづくり、NPOなどの分野でも実践と評論活動を行っている。著書に『空間和音』『博物学者』『Yの森』『ざわめく卵』『砂丘の魚』など。ウェブサイト「俳句工房 [ZA]」(<http://a-un.art.coocan.jp/za/>) を運営。俳人協会会員、日本文藝家協会会員。

講座内容

俳句の魅力は、五七五という小さな器にもかかわらず、めぐる季節の美しさや日々の生活の中に隠れているたくさんの感動を私たちに気づかせてくれることです。俳句を学ぶと、見慣れた風景も新鮮な表情を見せてくれます。

この講座では、「実作」と「鑑賞」を通して、俳句の作り方を基礎から学ぶとともに、日本語や日本文化のすばらしさを再発見しながら、ことばで表現する力を深めていきます。また、初心者の方も経験者の方も一緒に楽しみながら学べるよう進めていきます。



06 生き生き感性アート — 臨床美術入門講座(2025前期) —

申込締切

6/5
木

講師 保坂 遊 (子ども支援学部教授)

講座日時 金曜日 (全3回) 10:30~12:00 [90分]

定員 各日30名

受講料 ≪一般≫6,000円 ≪在学生≫3,000円

持ち物 作品を持ち帰る袋



※本講座は1回ずつの受講が可能です。申込の際、希望日を明記ください。希望日の記載がない場合は全3回の申込といたします。受講料は1回につき《一般》2,000円《在学生》1,000円となります。

開催日

①6月20日(金) アンスリウムを描く

南国の雰囲気を感じながら、熱帯植物独特の色彩、形、質感を表現します。

②7月 4日(金) ストライプコンポジション

赤色の画面に描いたストライプをコラージュで再構成することで、新たな反復する線のリズムのデザインを楽しみます。

③8月29日(金) ガラス絵サボテン

ガラスに広げた絵の具をふき取り、スクラッチによる線や点により、さまざまなサボテンの形を表現します。

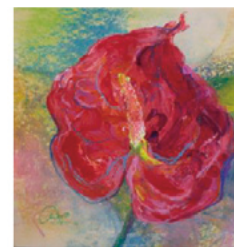
講師プロフィール

東京家政大学子ども支援学部長 子ども支援学科教授 臨床美術士1級 彫刻家 臨床美術学会/日本臨床美術協会副会長

大学で彫刻を学び、大学院では社会福祉学を学ぶ。幼児の造形表現教育に携わりながら、臨床美術の普及のため、沖縄県、宮城県での活動を経て、2014年より本学子ども学部に着任。科研費「多職種協働による芸術保育を主軸とした日常保育実践モデルの開発」、「発達支援プログラムとしての美術表現活動の確立へ向けた脳内ネットワークの解析」等の研究を推進し、美術が教育・福祉・医療に果たせる役割をテーマとして探求している。

講座内容

「臨床美術」とは、豊かな感性と創造力を引き出す独自のアートプログラムを用いて美術創作を楽しむそのプロセスによって、認知症ケア、介護予防、また保育・教育現場、また様々な子どもへの実践へとニーズが広がっているアートセラピーです。「生き生き感性アート」も3年目を迎えることができました。毎回それぞれのテーマに沿って、五感で感じたことをユニークな手法によって制作しながら、個性溢れる美術表現の世界を皆さんと一緒に楽しみましょう。



1回目



2回目



3回目

07 女性の健康とペリネケア ～健やかな生活を送るための骨盤底筋セルフケア～

申込締切

5/20
木

講師 杉田 理恵子 (健康科学部准教授)

講座日時 火曜日 (全2回) 10:30～12:00 [90分]

定員 15名 (女性限定)

受講料 ≪一般≫4,000円 ≪在学生≫2,000円

持ち物 動きやすい服装 (ジャージやパンツスタイル)
筆記用具・水分補給用飲み物

講師プロフィール

看護師・助産師免許取得。助産師として病院に勤務後、看護師・助産師養成に携わる。東京医科歯科大学大学院修士 (医療政策学)、立教大学大学院博士 (比較文明学) の学位を取得。主な研究課題は、周産期医療システム、ウイメンズヘルス。本学では、看護学科で母性看護学・助産学領域の授業や実習を担当し、東京家政大学かせい森の産後ケアサロンではケアや子育てイベントの企画運営を行う。

DE GASQUETペリネアドバイザー資格取得。

開催日

①6月 3日 (火) 骨盤底筋群にまつわるマイナートラブルとペリネケア

骨盤底筋の機能、出産や年齢による変化とマイナートラブルとの関係、ペリネケアの意義と効果について、模型やデジタルツールを用いて分かり易く講義形式で解説します。

②6月17日 (火) ペリネケアエクササイズ

骨盤底筋群に関わるマイナートラブルを予防するペリネケアエクササイズを実際に行います。まとめとして、参加者の皆さんとの意見交換を通して、セルフケアを生活に取り入れていく方法について一緒に考えます。

講座内容

「骨盤底筋 (ペリネ)」は腸や膀胱、子宮など多くの臓器を支える筋肉や靱帯の総称です。骨盤底筋は出産によるダメージや、加齢による筋力の低下などにより臓器を支える機能が低下します。骨盤底筋の機能の低下は、女性が経験する尿漏れや便秘、突き出た下腹部などの一因にもなります。講座では、骨盤底筋の機能や尿漏れなどのマイナートラブルとの関係性について分かり易く解説し、トラブルを解消して日常生活を健康に過ごすためのセルフケアについて「ペリネケア」の理論と実践を交えて一緒に学んでいきます。



08 きほんの献立練習 ～シンプルな献立法～

申込締切

8/28
木

講師 角南 祐子 (短期大学部講師)

講座日時 木曜日 (全1回) 11:00～12:30 [90分]

定員 20名

受講料 ≪一般≫2,000円 ≪在学生≫1,000円

持ち物 筆記用具



講師プロフィール

順天堂大学大学院修士課程 (健康科学) 修了後、助手・助教としての大学勤務および、他大学での非常勤講師を経て、現在、東京家政大学短期大学部講師として勤務。

現場栄養士での勤務経験を活かし、現場に沿った講義や実習を通じて、社会で活躍できる栄養士・管理栄養士を輩出すべく、効果的な学習方法等について研究。

主な社会活動として、東京都保育士キャリアアップ研修の食育分野について講師を務める。

開催日

①9月11日 (木) きほんの献立練習 ワークシートに取り組む時間も設けながら、分かり易くご説明します。

講座内容

「この食品を食べれば健康になる」という食物はありません。反対に「この食品を食べたら不健康になる」という食物也没有。様々な食物をバランスよく、楽しく食べることが、体にも心にも一番なのです。

「毎日の献立を考えるだけでも億劫なのに、栄養バランスの整った献立を考えるなんて面倒だわ。」と思われる方も多いと思います。そこで、この講座では、献立を立てるための簡単ルールや目安を学び、ご家庭で実践できるような、シンプルな献立法についてお話をさせていただきます。



【子ども支援と保育支援】 Part 1(前期)『保育における基軸』

09 子ども主体の保育を考える
～記録と計画の見直し～

申込締切

5/17



【担当講師】小櫃 智子(子ども支援学部教授)

講座日時	5月31日(土) 10:00～12:10 [60分]×2コマ(全1回)
定員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持ち物	筆記用具



講座概要

今、なぜ?“子ども主体の保育”なのでしょう。VUCAの時代と言われる今、目まぐるしく変動する予測困難な社会の中で、これから生きる子どもたちには複雑で様々な課題を解決する力が必要になります。こうした力を身に付けていく上で、乳幼児期を主体的・協同的に過ごすことの大切さが研究で明らかになっています。子ども主体の保育を進めていく上で何が大切となるのか、受講生の皆さんと共に考えます。また、子ども主体の保育実践のための記録と計画について解説します。

講師プロフィール

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科長。専門は保育学・幼児教育学。研究課題は保育者の専門性及び保育者養成教育に関する研究。子どもたちが安心して健やかに成長していける場として保育現場が機能していくために、保育を担う保育者の養成・育成が重要と考え、保育の専門性とは何かを探究しつつ、保育者養成の核となる実習教育のあり方をテーマに研究に取り組む。また、保育現場とともに質の高い保育を目指して、保育者の成長を支える研修等に力を入れている。

10 乳幼児期の探究をはぐくむ環境・保育材

申込締切

5/24



【担当講師】野口 隆子(子ども支援学部教授)

講座日時	6月7日(土) 10:00～12:10 [60分]×2コマ(全1回)
定員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持ち物	園環境の中で“園らしさ・クラスらしさ”が表れていると思う環境写真1枚



講座概要

乳幼児期の子どもは、興味関心を持つ身近な環境に主体的に関わり、遊びながら探索から探究へと深まる中で学んでいます。保育における環境は基本ですが、発達に応じた環境の構成と再構成について、あらためて理論や実践事例を通して考えていきます。講義の中では一部、保育材・教材研究の一つとして絵本との関わり、ドキュメンテーション作成や振り返りについても解説します。また、ご参加いただいた写真を見せあいながら環境構成について語り合うワークを行います。

講師プロフィール

お茶の水女子大学大学院を経て白梅学園大学子ども学研究科博士課程修了。子ども学博士。専門は、保育学、発達心理学。主な社会活動は、公益財団法人日本教材文化研究財団研究協力者、狭山市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員、国際幼児教育学会理事、OMEP日本委員会理事、日本教育心理学会「絵本心理学研究」編集委員。主な著書は「乳幼児の保育・教育」(単著、放送大学教育振興会)、「絵本の魅力 その編集・実践・研究」(共著、フレーベル館)など。

11 表現が語る子どもの世界
～個の表現を保障する造形活動を考える～

申込締切

6/7



【担当講師】保坂 遊(子ども支援学部教授)

講座日時	6月21日(土) 10:00～12:10 [60分]×2コマ(全1回)
定員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持ち物	筆記用具



講座概要

子どもの表現活動は「創るプロセス」に、学びと育ちが集約されています。それはまるで初めての旅行のように、ドキドキワクワクの連続!保育のテーマはきっかけに過ぎず、ゴール(完成)は子どもに委ねられているのです。保育者はガイド役として、子どもたちが紡ぎ出す「自分なりの表現」のストーリーを共に楽しみ、子どもの想いを受け止めることが大切です。本講義では、子どもたちの表現をどのように読み取り、評価していくべきか、アートワークを交えて共に考えていきます。

講師プロフィール

東京家政大学子ども支援学部長 子ども支援学科教授 臨床美術士1級 彫刻家 臨床美術学会/日本臨床美術協会副会長。大学で彫刻を学び、大学院では社会福祉学を学ぶ。幼児の造形表現教育に携わりながら、臨床美術の普及のため、沖縄県、宮城県での活動を経て、2014年より本学に着任。科研費「多職種協働による芸術保育を主軸とした日常保育実践モデルの開発」、「発達支援プログラムとしての美術表現活動の確立へ向けた脳内ネットワークの解析」等の研究を推進し、美術が教育—福祉—医療に果たせる役割をテーマとして探究している。

12 乳児の健やかな育ちを支える保育
～健康な心と体の育て方～

申込締切

6/21



【担当講師】細井 香(子ども支援学部教授)

講座日時	7月5日(土) 10:00～12:10 [60分]×2コマ(全1回)
定員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持ち物	筆記用具



講座概要

乳児期は、一生の中でも心身ともに著しい発育発達が見られる時期です。この大事な時期の「健康な心と体を育てる」保育のポイントについて、最新研究を踏まえながら解説していきます。赤ちゃんは生まれながらに有能で能動的な力をもっていることが、最新の研究から分かってきました。生をうけたその瞬間から好奇心が旺盛で、自ら学ぼうとする力をもっています。赤ちゃんのもつ力を理解し、保育者として、ひとりの「人」の育ちを支える視点で、健やかな育ちを支えるために保育者ができることは何かを考えてみましょう。

講師プロフィール

医学博士。専門科目は家庭支援論、乳児保育、子どもの保健。自らも保育士経験を持ち、その後、北里大学医学部で医学博士号を取得。研究課題は保育施設向けICTヘルスケアシステム構築のための検討。保育者のキャリアアップ研修における効果検証に関する開発的研究。主な社会活動は、日本アタッチメント育児協会理事、東京都家庭的保育者の会顧問、独立行政法人日本学術振興会審査委員、日本保育者養成協議会保育士試験作問委員、板橋区・葛飾区・入間市など多数の自治体主催研修会の講師を担当。

13 食品の生菌数測定の見解

申込締切
6/16
月

【担当講師】 藤井 建夫 (東京家政大学大学院客員教授)

開講方法	Zoomによるオンライン開催
講座日時	7月1日(火) 13:30~15:40 [60分]×2コマ
定員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対象	食品関係の企業に従事されている方、 及びこのテーマに関心のある方



講座概要

生菌数（公定法）は各種の食品で成分規格として規定されているが、そもそもこの生菌数は、何を目的としたものなのでしょうか。腐敗（品質管理）の指標なのか、安全性の確保（食中毒防止）が目的なのか曖昧です。また、35℃培養のこの測定法は、チルド食品で問題となる低温細菌には不適当であるが、これまでの受講生からは自社のラボでの検査が不適当であったことに気付かれ、「目から鱗が落ちた」などありがたい評価をいただいています。ここでは、その他、生菌数測定の際の塗抹法と混濁法による菌数の違い、ストマッカーとホモゲナイザーの違いなどにも触れます。その結果は皆さんの常識とは違ったものであるかもしれません。

講師プロフィール

京都大学大学院農学研究科博士課程修了、東京水産大学・東京海洋大学教授、東京家政大学特任教授、日本食品衛生学会会長などを経て、現在、東京家政大学大学院客員教授、東京海洋大学名誉教授。専門分野：食品微生物学、食品衛生学。日本水産学会、日本食品衛生学会および日本食品微生物学会各名誉会員。「ガッテン!」、「ホンマでっか?! TV」、「林修の今でしょ! 講座」、「羽鳥慎一モーニングショー」など数多くのメディアに出演。『魚の発酵食品』、『新・食品衛生学』、『食品微生物学の基礎』など著書多数。

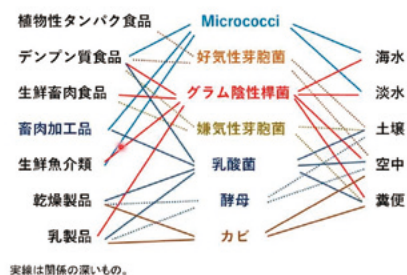
お願い

講座をお申込の前に
必ず、目を通してください。

受講のご案内

受講のご案内・申込方法…………… 15~19
 狭山キャンパスマップ・交通のご案内…………… 20
 受講申込書（FAX専用紙・ハガキ）…………… 21~23

食品と環境中の腐敗・変敗菌 (久田)



受講のご案内

❖申込 ❖手続き方法

※ 受講資格

- ◆年齢・性別は問いません。どなたでも受講できます。
- ◆講座により、受講条件がついている講座がありますので、各講座のご案内をご覧ください。

※ 定員

- ◆定員となり次第締切りとなります。講座によっては抽選にての対応となる場合もありますので、ホームページの各講座の案内頁をご確認ください。

※ 受講キャンセルについて

- ◆受付完了後のキャンセルの際は必ずご連絡をお願いします。受講料振込後のキャンセル・変更に伴う、受講料・教材費の返金は、基本的に応じられません。
ただし、開講前ややむをえない事情と判断された場合は、
返金手数料（1,000円）
事務手数料（300円）
を除いた金額を返金いたします。講座開講日当日のキャンセルは、受講料・教材費等の返金はいたしませんのでご了承ください。

※ キャンセルが発生した場合について

- ◆定員を超えた講座に関しては、講座によっては、キャンセル待ちでのお申込が可能です。キャンセルが発生した場合、先着順にて講座の前日までにお電話にてご連絡いたします。
講座によっては、再度抽選を行い、ご連絡する場合があります。
- ※申込書のお電話番号は、日中連絡のつく番号をご記入ください。

※ 開講中止について

- ◆受講者が一定数に満たない場合、講座を中止することがあります。
やむをえない事情により講座が中止となった場合、受講料を返金いたします。
返金は銀行振込になります。
なお、当該年度内に返金手続きに必要な書類をご提出いただけない場合は、返金の権利を放棄したものとみなします。

※ 受講料について

- ◆後日（申込締切後）、「受講票・専用払込票（コンビニ専用）」を郵送いたします。専用払込票を使って、コンビニエンスストアにて、支払期日を厳守の上お振込みください。
また、受講料とは別に、事務手数料として300円を頂戴いたしますので、ご了承ください。
なお、銀行・郵便局でのお振込み、センター窓口での現金での受講料のお支払いは原則できません。

※ 休講について

- ◆講師の都合及び事故・災害等のやむをえない事情により、休講になることがあります。
その際、当初の日時を変更・あるいは講師を変更して補講を実施する場合があります。
補講の日程については講師が決めさせていただきますので、予めご了承ください。
休講の連絡は、申込時にご記入いただいた電話番号にご連絡します。不明な際は、センターまでお問い合わせください。（業務時間外は対応できませんのでご了承ください）

※ 図書館利用について

- ◆講座受講期間中は、図書館への入館ができます。ただし、図書の貸し出しや視聴覚機器のご利用はできません。
- ◆ご利用の際には、「図書館利用カード」が必要となります。ご希望の方はセンターまでお越しください。なお、カードは必ず、当日の業務時間内に返却ください。
※ご利用時は「受講証兼入構証」を首から下げてください。（初回受付時にお渡し）

※ 学生食堂利用について

- ◆講座受講期間中は、学生食堂の利用ができます。土曜休業、その他休業日がございます。ご了承ください。
- ◆ご利用の際には、「受講証兼入構証」を首から下げてください。（初回受付時にお渡し）
※初回の講座前に利用の場合は、センターまでお越しください。

※ 受講上の注意

- ◆駐車場はありませんので、お車でのご来校はご遠慮ください。

- ◆教室内の食事・喫煙はご遠慮ください。
※水分補給のための飲み物は可能です。
- ◆講座中は、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください。
- ◆他の受講生の迷惑となるような行為、また、講義の進行を妨げるような行為があった場合は、受講をお断りする場合があります。
- ◆教室内では、許可なく録音・録画・撮影することはできません。
- ◆講座中、広報用として、写真の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。
- ◆親子プログラム対象者以外のお子様との同伴の受講は、ご遠慮ください。
- ◆講座を欠席する場合の連絡は不要です。
- ◆講座を欠席した場合、その日の資料は、次の講座の時に配布します。ただし、最終回については、センターまでご連絡の上、お越しください。（郵送でのお渡しは行っておりません。）
- ◆住所等の変更がございましたら、センターまでご連絡ください。

※ 受講特典

- ◆受講案内のパンフレットを、毎年お送りいたします。

※ 個人情報について

- ◆個人情報は公開講座以外の目的には使用いたしません。

1 受講申込

巻末の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、**FAX、ハガキ、メール**で、お申込ください。

お電話での申込は受け付けておりません。

ハガキでお申込の場合は、申込締切日必着となりますので、余裕をもって投函してください。※官製ハガキでの申込も可能です。

(メールでのお申込の場合はP.19参照)

★申込締切は原則、各講座開始日の約2週間前

●日数調整のため、締切日が前後する場合もありますのでご了承ください。

●各講座のタイトルの右横に、申込締切日を表記しています。この日が、開講有無の最終決定日となります。

2 申込結果専用払込票郵送(コンビニ専用)

*開講決定の場合

「受講票」と「専用払込票(コンビニ専用)」を各講座申込締切後(講座2週間前頃)に郵送します。

*受講希望者が定員を超えた場合

講座によっては、「キャンセル待ち」として登録し、メールまたはお電話にて連絡します。

●「キャンセルが発生した場合」講座の前日までにキャンセル待ちの登録順にお電話にて連絡します。

●「講座の前日までにキャンセルが発生しない場合」連絡はいたしませんのでご了承ください。

*講座申込締切日の時点で、申込者数が一定数に達しない場合

中止決定の通知をメールまたは郵送にて連絡します。

3 受講料お支払い講座開講

*講座期間中は、「受講票」をご持参ください。正門入構の際、ご提示ください。

*受付の後、指定の教室にお入りください。

教室は、前の授業で使用している場合があります。

教室への入室は、原則として30分前とさせていただきます。

★受講料については、お送りする専用払込票(コンビニ専用)にて、記載されている期日までに、お支払いをお願いいたします。

メールでの申込方法

次の事項を明記の上、メールの件名を「公開講座申込」として、下記申込専用E-mailアドレスへ送信してください。

①

■駐車場はありませんのでお車のご来校は、ご遠慮ください。

■講座開講日当日のキャンセルの場合は、受講料・材料費の返金はいたしません。

■申込締切日厳守でお願いします。

■講座中、広報用として、写真の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。

☆**以上の内容を了承の上、受講を申込ます。「はい」を必ず記入**

- ②受講講座名
- ③住所
- ④氏名(ふりがな)
- ⑤性別
- ⑥電話番号/携帯番号
- ⑦E-mailアドレス
- ⑧生年月日(年齢)
- ⑨職業
- ⑩受講経験の有無
- ⑪講座は何でお知りになったかを記入

※⑥の連絡先は、必ず連絡のつく番号を記入ください。

申込専用
《E-mail》アドレス



chiikioubou@tokyo-kasei.ac.jp

お問い合わせ先

東京家政大学 ヒューマンライフ支援機構 地域連携推進センター

住 所 〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山2-15-1 TEL 04-2955-6959 FAX 04-2955-6929

受付時間 平 日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00

E-mail chiiki@tokyo-kasei.ac.jp

U R L <https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html>



狭山キャンパスマップ・交通のご案内 ～当大学へのアクセス～



2025 前期 受講申込書

FAX 04-2955-6929

FAX専用用紙

※お申込の前に、P15～19の「受講のご案内・申込方法等」を必ずご確認ください。

- 駐車場はありませんので、お車でのご来校は、ご遠慮ください。
- 講座決定後のキャンセルの場合は、材料費が伴う講座については、材料費を徴収させていただきます。
- 講座開講日当日のキャンセルの場合は、受講料・教材費の返金はいたしません。
- 申込締切日厳守をお願いします。
- 講座中、広報用として、写真の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。

以上の内容を了承の上、公開講座の受講を下記の通り申します。

←ご確認ください、必ずチェックを入れてください。

講座番号	希望講座名
ご住所	〒
お名前	(フリガナ) 男・女
電話番号	携帯 () 自宅 () ※必ずご記入ください。
E-mail	
生年月日	年 月 日 (歳)
ご職業	1. 会社員 2. 主婦 3. パート(派遣) 4. 学生 5. 無職 6. その他()
◆ 講座は何でお知りになりましたか。☑印を付けてください。	
☐ 東京家政大学からの案内(パンフレット) ☐ 市役所・公民館などの公共施設にあったパンフレット ☐ ポスター・チラシ ☐ 東京家政大学のホームページ ☐ 市報 ☐ 知人・友人の紹介 ☐ その他具体的に ()	
公開講座の受講状況	1. 今回、初めてセンターの公開講座を受講する。 2. 受講経験がある。※以前に受講された講座名をご記入ください。 ()

2025 前期 受講申込書

FAX専用用紙

※お申込の前に、P15～19の
「受講のご案内・申込方法等」を必ずご確認ください。

FAX番号

04-2955-6929

※表裏を間違えて送信されないようご注意ください。



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
地域連携推進センター

2025 前期

受講申込書

記入不要
です。→

受付番号

※お申込の前に、P15～19の「受講のご案内・申込方法等」を必ずご確認ください。

■駐車場はありませんので、お車でのご来校は、ご遠慮ください。
■講座決定後のキャンセルの場合は、材料費が伴う講座については、材料費を徴収させていただきます。
■講座開講日当日のキャンセルの場合は、受講料・教材費の返金はいたしません。
■申込締切日厳守をお願いします。
■講座中、広報用として、写真の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。

以上の内容を了承の上、公開講座の受講を
下記の通り申込ます。

ご確認の上、
必ずチェックを
入れてください。

講座番号	希望講座名
ご住所	〒
お名前	(フリガナ) 男・女
電話番号	携帯 () 自宅 () ※必ずご記入ください。
E-mail	
生年月日	年 月 日 (歳)
ご職業	1. 会社員 2. 主婦 3. パート(派遣) 4. 学生 5. 無職 6. その他()
◆講座は何でお知りになりましたか。☑印を付けてください。	☐ 東京家政大学からの案内 (パンフレット) ☐ 市役所・公民館などの公共施設にあったパンフレット ☐ ポスター・チラシ ☐ 東京家政大学のホームページ ☐ 市報 ☐ 知人・友人の紹介 ☐ その他具体的に ()
公開講座の 受講状況	1. 今回、初めてセンターの公開講座を受講する。 2. 受講経験がある。※以前に受講された講座名をご記入ください。 ()

ミシン線から切り離して使用してください

ミシン線から切り離してご使用ください

— 個人情報取扱いについて —

本申込書にていただいた個人情報は、個人情報保護法及び関連法令に基づき適正に管理、保護し、目的以外の利用や第三者への情報提供は行いません。また、個人情報についての訂正・削除等を希望される場合は東京家政大学地域連携推進センターまでお申し出ください。

郵便はがき

郵便料金

改定に

ご注意

ご確認の上
所定の切手を
お貼りください

3 5 0 1 3 9 8

埼玉県狭山市稲荷山 2-15-1

(受取人)

東京家政大学狭山校舎

ヒューマンライフ支援機構 地域連携推進センター

公開講座受付係 行

ミシン線から切り離してご使用ください

ミシン線から切り離してご使用ください



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
地域連携推進センター

住 所：〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山2-15-1

T E L：04 (2955) 6959 F A X：04 (2955) 6929

E-mail：chiiki@tokyo-kasei.ac.jp

受付時間：平日9:00～17:00 土曜9:00～12:00

U R L：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html